

不破高 部活動通信

自然科学部

顧問 中川和浩 田中 香津美 (大野貴也)
活動場所 理科棟 1階 生物実験室
活動日 月・水・金曜日放課後 (時には土日どちらか)

【活動内容】

○学校周辺に現れる野生動物の調査～ニホンジカを中心に～をしています。

学校周辺にトレイルカメラ（自動撮影デジタルカメラ）を13台設置しています。動物（ニホンジカやタヌキ・キツネ・ハクビシンなど）がカメラのそばを通るとカメラが稼働して、1分間の動画を撮るようになっていました。そのデータを1日ごとにまとめ、特にニホンジカがどのように出現するかや繁殖期、行動を分析しています。これらのデータをまとめて、いろいろな場所で研究発表をしています。

○南宮山の土壌生物の調査とクマムシの研究

学校の裏山には森が広がっています。そして多くの落ち葉が堆積しています。これらの落ち葉を利用する分解者たちがいます。森に入って落ち葉と土壌を集めてきて、ツルグレン装置（自作）を使って土壌生物を集めます。また、学校内のコケにはクマムシという小さな、そして最強と言われる生き物がいます。ただ、現在どのようなことを中心に研究するかを思案しています。

自然科学部では日常の活動と、高文連自然科学部会の活動を行います。高文連の活動としては、11月に研究をまとめた研究発表会、6月には岐阜大学の先生にお願いして最新の科学や研究の話、8月には、各地区ごとに自然観察会を、2月にはサイエンスワールド（瑞浪市）にて高校生サイエンスフェスティバルを行っています。

これらの活動以外には、大学主催の高校生発表会（東海地区理科研究発表会や愛知工業大学主催の高校生サイエンス大賞など）で発表したり、岐阜県児童生徒科学作品展などにも発表しています。ここでは、プレゼンテーションを行ったり、ポスター発表をしたりと、人前で話す経験ができます。これらの経験は、進路実現などにも役に立ちます。

3年生が卒業すると、2年生一人だけになります。一人でも研究はできますが、なかなか大変です。ぜひ、来年不破高に入学して、自然科学部に入りませんか。こんなことを調べたい、こんな疑問がある、理科がとにかく好きという人は大歓迎します。

【活動実績】

○研究成果は下記に示した大会で発表し、いくつもの賞を受賞しています

- ・高文連自然科学部会研究発表交流会 奨励賞
- ・岐阜県児童生徒科学作品展中央展 優秀賞
- ・東海地区理科研究発表会 奨励賞

○その他の活動

- ・研究向上講座（6月）（高文連）

岐阜大学の先生から、最新の研究や、高校生が研究を行っている場合の助言などを話していただいています。さらに、全県の自然科学系部活動の交流会も行います。

- ・自然観察会（8月）（高文連）

岐阜県の様々な自然を経験するために、地区ごとに自然観察会を行います。今年度は伊吹山に行く予定でしたが、荒天のため中止となりました。

- ・全国総合文化祭

前年度の11月の研究発表交流会で上位入賞すると出場することができます。

- ・研究発表交流会（11月）（高文連）

1年間あるいは継続研究では数年の研究についてまとめ、論文、プレゼンテーション発表、ポスター発表をします。いろいろな高校から様々な研究が発表されます。

- ・高校生サイエンスフェスティバル（2月）（高文連）

岐阜県の東の方にある瑞浪市のサイエンスワールドで、高校生サイエンスフェスティバルが開かれます。一般の人たちが多く訪れる場所で子どもたちもたくさん来ます。科学ブースを開き、楽しく子どもたちに科学に興味を持ってもらえるように活動しています。

- ・垂井町などからお願いされて、研究内容を発表することもあります。